

## R7.12.18(木)開催 令和7年度第4回 宮若市地域ケア会議 アドバイザーとして参加

令和7年12月18日木曜日、午前10時～午前11時30分まで、宮若市地域ケア会議に

精神保健福祉士の立場でのアドバイザーとして、当院 認知症医療センター室長の江頭が参加させて頂きました。

地域ケア会議では、江頭の他に、介護支援専門員、主任介護支援専門員、薬剤師、在宅介護支援センターなどの他職種の専門職で、対象者の自立に向けての解決方法等に議論しました。

参加者は事例提供者を含めて、15名でした。

今回は、『介護保険サービスを卒業したい』、『転倒しないように注意しているが転倒してしまう利用者』というテーマで、残り1名の方は事例の振り返り、合計3名の方の検討が行われ、精神保健福祉士の立場から、生活面や医療面等のアドバイスをさせて頂きました。

今回の地域ケア会議で共通したキーワードとして、精神保健福祉士として『見守り』であると感じました。自立支援医療（精神通院）や障害者総合支援法による制度の活用を通じての見守り体制の確保、本人が自分の思いで取り組んでいるが、住環境や本人の性格、疾病などによって本人のペースで進んでいくこと、支援者はこの動きを見守ることが大切であると感じました。

最後になりますが、参加者の皆様を始め、このような機会を頂きました、宮若市地域包括支援

センターの皆様、関係者の皆様方に

大変感謝いたします。

地域ケア会議の様子です。

